

# 情報モラル教育(1)－情報モラルへの年少児の親の実態－

馬場 伊美子<sup>†</sup> 大西 文行<sup>†</sup> 坂元 昂<sup>†</sup>

東京未来大学<sup>†</sup>

**概要：**幼稚園教諭を志す学生のための情報モラル教育の在り方を研究するため、幼稚園児の保護者を対象に PC(パソコン)と携帯電話に関する実態調査を行った。幼児の家庭にも PC が普及している状況から、幼稚園児の保護者や幼稚園教諭に求められる情報の知識、特に、情報活用の基盤となる情報モラルを視点において、第一段階として、幼稚園年長児の家庭の PC の実態を主に報告した。さらに、幼稚園児の指導・保護者の指導についての視座からも考え、今後の研究の進め方を検討した。

## 1. はじめに

情報モラル教育の小中高の研修テキストは「教員の ICT 活用指導力向上研修テキスト 2008」(文部省委託事業・教育情報化推進協議会)が出版されているが、就学前の幼児や、幼児を指導する幼稚園教諭を対象とした指導書はみあたらない。まず、幼稚園児の保護者の PC と携帯電話に関する実態調査を行い、その実態調査の結果を踏まえて、ICT 活用の基盤となる情報モラルに関する幼児版指導書を作成し、幼稚園教諭を志す学生に対する情報教育の研究につなげたいと考えている。その第一段階として、幼稚園児の家庭における情報機器活用、特に PC に関する実態を報告する。

## 2. 調査方法

質問紙法を用いて、平成 20 年 11 月初旬から中旬にかけて 151 名に調査用紙の配布をおこない、11 月末に 133 名分回収(回収率 88.1%)した。質問紙は B5 版 4 ページ、質問項目は全部で 49 項目、PC に関する調査項目 25 項目と携帯電話に関する調査項目 24 項目を含む。PC に関する項目は[1],[2]を参考にした。

調査対象は公立幼稚園 2 園と公立幼保園 1 園合計 3 園(足立区教育委員会教育政策課より紹介)の年長児(5, 6 歳)の保護者である。アンケートの回答者は母親が 90.2%, 父親が 5.3%, その他 4.5%であった。

## 3. 結果と考察

### 3.1 PC 所有について

PC のある家庭が 81.2%であるが、そのうちインターネットに接続している家庭が 70.7%である(図 1)。

### 3.2 情報の危機管理について

PC の不測の事態に対処できるように、個人情報流れ出ないように、情報が流れた場合に被害者になるだけでなく、加害者になる恐れがあるので、事前に備えておくべきこととして、OS の更新、ウイルス対策、パーソナルファイアウォールソフトの導入、迷惑メールの対策などが考えられる。

#### 3.2.1 ウィルス対策

ウイルス対策をしているが 79.8%, 対策をしていないが 8.5%, 分からないが 10.6%, 無回答が 1.1%であった。対策をしない理由についてはしようと思っているがやっていない、動きが悪くなる、ウイルスについてよく知らない、設定の仕方が分からないなどである。PC がウイルス感染したことがあるは 22.3%(21 名)、その時の対処法は対策ソフトの導入が 10 名、OS 初期化が 3 名、PC に詳しい人や専門家に相談したが 6 名、その他無回答などが 2 名であった。

#### 3.2.2 ファイアウォールソフト

ファイアウォールソフトを導入しているが 33.0%, 導入していない 5.3%, わからない・無回答が 61.7%であった。導入していない理由としては別の対策をしている、ファイアウォールソフトが分からないなどであった。

#### 3.2.3 電子メール

PC のみの電子メール使用は 4.3%, 携帯電話での電子メール使用は 14.9%, PC と携帯電話両方での電子メール使用は 75.5%である。したがって、電子メールの使用は 94.7%である。このうち迷惑メール対策をしている家庭が 70.2%であった。

### 3.3 年少児のコンピュータ利用

年長組(5, 6 歳)幼稚園児が家庭でコンピュータをよく使用しているが 3.2%, 時々使用しているが 36.2%, 使用したことがないが 59.6%であった。子ども用のインターネットフィルタリング

サービスを利用しているかどうかについて導入しているが、5.4%(2名)で、ほとんどが導入していない。子どもの利用はゲームが一番多く73.0%、次いでCD・DVDが24.3%、ホームページが21.6%、お絵描き16.2%、などであった(複数回答、図2)。家庭では子どもに時間制限などを行っているが、時間制限を守らない事例もでている。

### 3.4 情報モラルについて

情報モラルという言葉聞いたことがあるが51.9%であった。PCを持っている人と持っていない人について有意差はなかった( $p=0.544$ , Yates' corrected  $\chi^2$ )。フィッシングを知っているのは45.1%でPCを所有しているほうがフィッシングという語を知っていた( $p=0.003$ , Yates' corrected  $\chi^2$ )。

### 3.5 PCなどの利用の教育について

PCや携帯などの利用方法について教育が必要と97.7%が回答している。そしてその教育を担うのは家庭87.2%、幼稚園・学校75.9%(複数回答、図3)であった。

## 4. おわりに

PC所有家庭が多いにもかかわらずウィルス対策をしていない、ファイアウォールやフィルタリングサービスなどがわからない家庭があることがわかった。対策をしていない家庭が多く、その理由に分からないことがあげられているので、なぜ危機管理が必要なのかの理解と実際の導入指導が求められる。

PCや携帯電話の使用についての教育は家庭や学校が期待されている。家庭・幼稚園教諭の連携に密な関係が求められている。このため、将来幼稚園教諭を志す学生の教育が重要である。

情報モラルを聞いたことがあるが約半数いるけれども内容の検討が必要で、今後、サンプリング面接を予定している。

**謝辞：**この調査を実施するにあたり、大学と地域の連携プロジェクトにより、東京都足立区教育委員会森太一係長のご協力をいただきました、心より感謝を申し上げます。さらに、この調査にご協力・ご参加いただきました幼稚園園長・教諭・保護者の皆様がたに厚く御礼を申し上げます。また、携帯電話の質問項目について東京未来大学伴浩美氏のご協力をいただき、御礼を申し上げます。

この研究は日本学術振興会の科学研究費補助金(課題番号20240071-0001 研究代表・坂元昂)の助成を受けた。ここに謝意を表します。

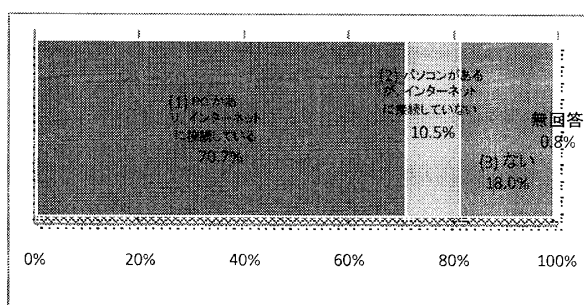


図1. PCの所有

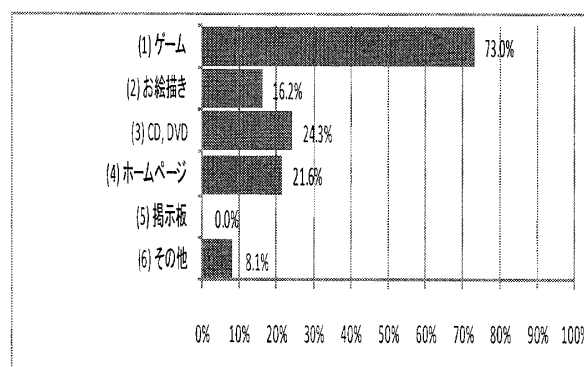


図2. 子どものPC利用

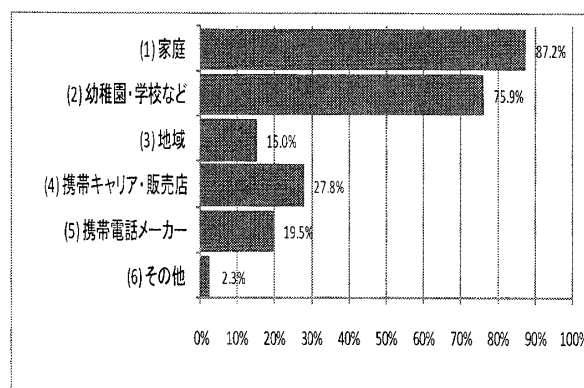


図3. PC利用の教育の場

### 参考文献

- [1]馬場伊美子・栗野桂子：幼稚園児のコンピュータ利用状況，数学教育学会情報リテラシー教育研究報告，Vol.1, No.1, pp.21-22, 2004.
- [2]池田正子・馬場伊美子ら：地域と大学の連携による児童の情報リテラシー教育，数学教育学会臨時増刊，pp174-176, 2003.